

◆計画の基本方針 **マイカーに依存しなくても、安心・快適で活力ある沖縄を築く交通社会の実現** (クルマから人中心の社会へ※)

◆計画の4つの目標 施策数 24

目標1 都市活動を支え、都市構造を誘導する効率的な公共交通体系の構築 [施策数 6]

目標2 県民全ての安全・安心で健康的な暮らしを支える交通環境の創出 [施策数 7]

目標3 沖縄観光の魅力を高め、地域振興も促す公共交通サービス等の拡充 [施策数 4]

目標4 地域・事業者・行政等が一体で取り組む、持続可能な交通社会の実現 [施策数 7]

基本方針で目指す交通社会実現のための都市部や地方部の公共交通ネットワークをつくる。(主な実施主体は国、県、市町村、交通事業者、道路管理者)

構築された公共交通ネットワークに、高齢者、障がい者、学生等移動困難者への福祉の観点を含め、まちづくりとも連携し、全ての県民にとって利用しやすい公共交通環境をつくる。(主な実施主体は県、市町村、交通事業者)

観光施策とも連携し、レンタカー以外にも公共交通により快適な移動環境を提供し地域振興につなげる。(主な実施主体は県、市町村、交通事業者、空港管理者、道路管理者)

関係者が協力して公共交通の利用促進、自治体・企業・学校でのマイカーからの転換の働きかけやデジタル技術を活用も含めて公共交通の確保維持につなげる。(主な実施主体は県、市町村、交通事業者、利用者関係団体)

全24施策の中から基本方針の実現に向けて計画期間内に強力に進める施策を選定。

◆強力に推進する施策 施策数 11

目標1 基幹バスシステム等 3 施策

目標2 各市町村の交通まちづくり 1 施策

目標3 観光型幹線公共交通システム等 4 施策

目標4 企業等に対するTDM施策等 3 施策

◆強力に推進する3つの視点

強力推進施策を沖縄県の現状に照らし、基本方針の実現のために着目すべき3つの視点で強力に進める施策を再構成。

視点1

地域公共交通の未来を育むための根幹

…骨格的な公共交通、コンパクトなまちづくり

視点2

地域公共交通の再生に不可欠

…利用者減少→サービス低下の負のスパイラルの好循環化

視点3

沖縄全体の持続的発展に必要

…観光連携による地域振興、安定的な公共交通運営スキームづくり